

令和5年 台風第7号の説明資料

8月14日12時現在

2023年8月14日
福井地方気象台

最新の台風情報（実況および進路・強度予報）

台風第7号の進路予想 14日12時現在

強い台風第7号は、14日12時現在、潮岬の南東約210キロにあって、1時間におよそ15キロの速さで北西へ進んでいます。

台風は今後、日本の南海上を北西に進み、15日午後から16日にかけて福井県に接近し、通過する見込みです。

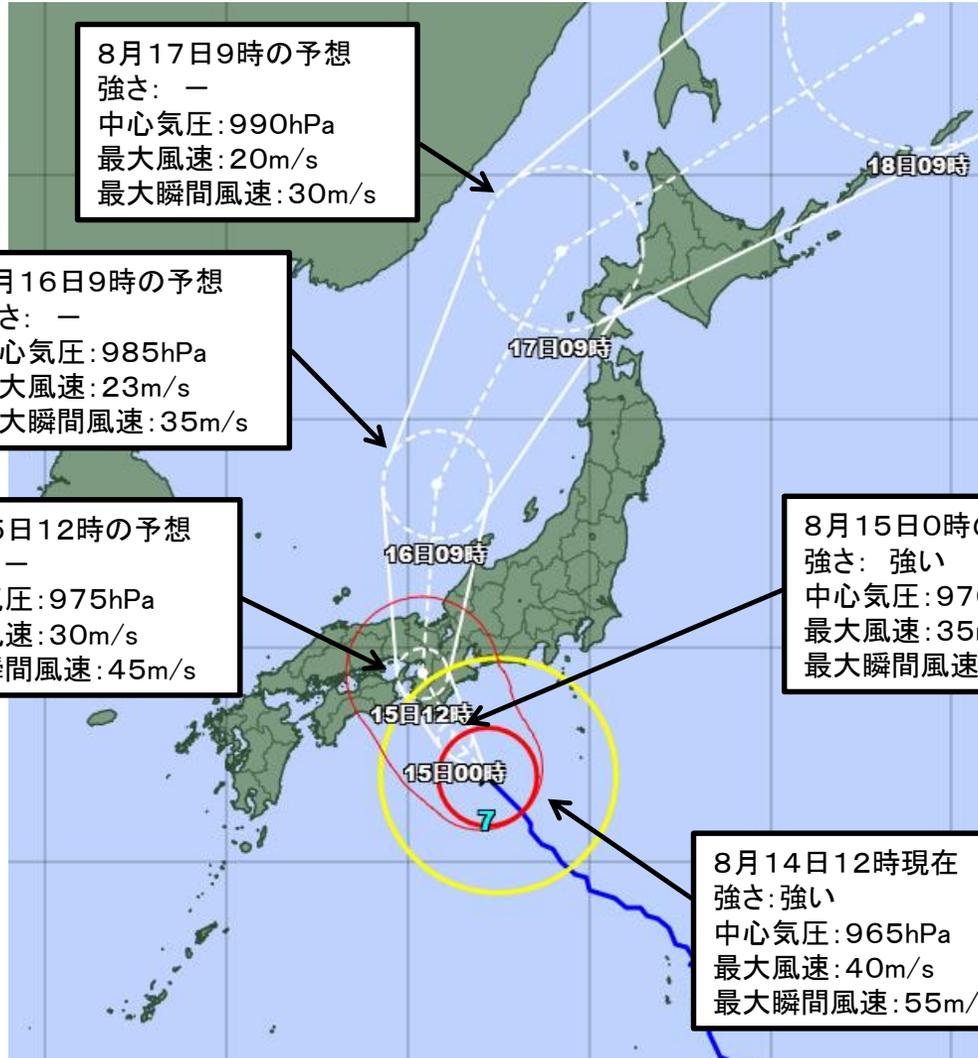
8月17日9時の予想
強さ：－
中心気圧：990hPa
最大風速：20m/s
最大瞬間風速：30m/s

8月16日9時の予想
強さ：－
中心気圧：985hPa
最大風速：23m/s
最大瞬間風速：35m/s

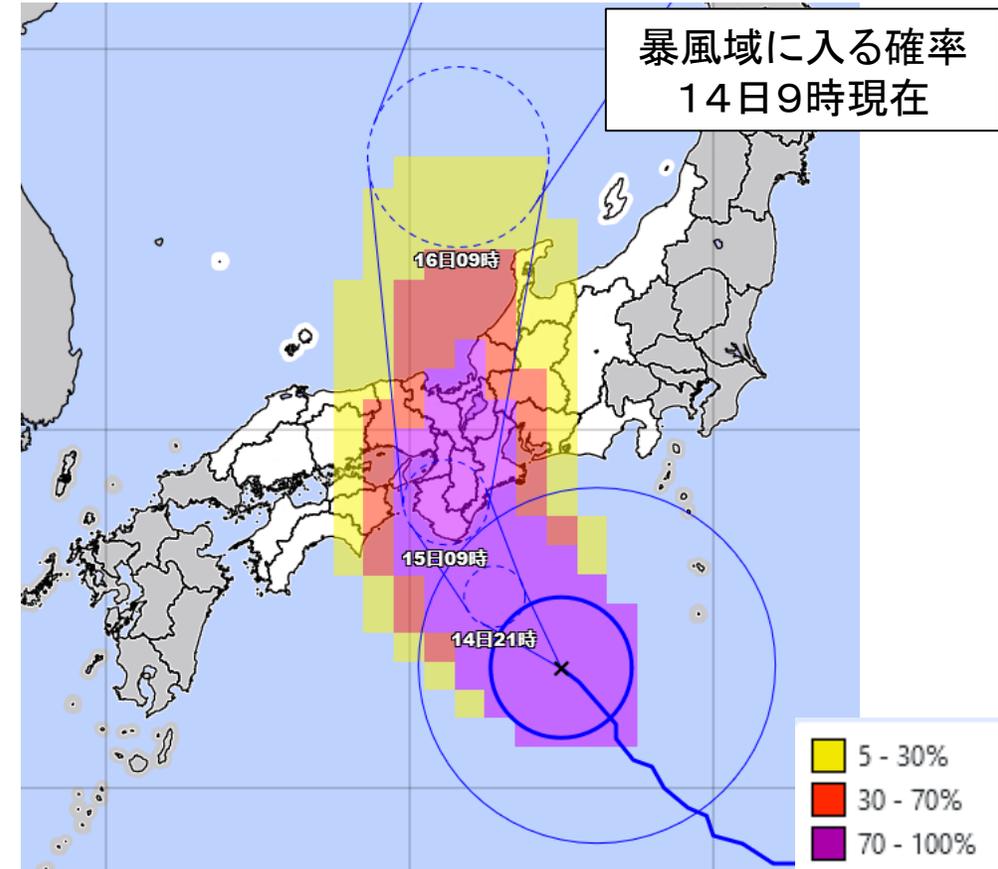
8月15日12時の予想
強さ：－
中心気圧：975hPa
最大風速：30m/s
最大瞬間風速：45m/s

8月15日0時の予想
強さ：強い
中心気圧：970hPa
最大風速：35m/s
最大瞬間風速：50m/s

8月14日12時現在
強さ：強い
中心気圧：965hPa
最大風速：40m/s
最大瞬間風速：55m/s



暴風域に入る確率
14日9時現在

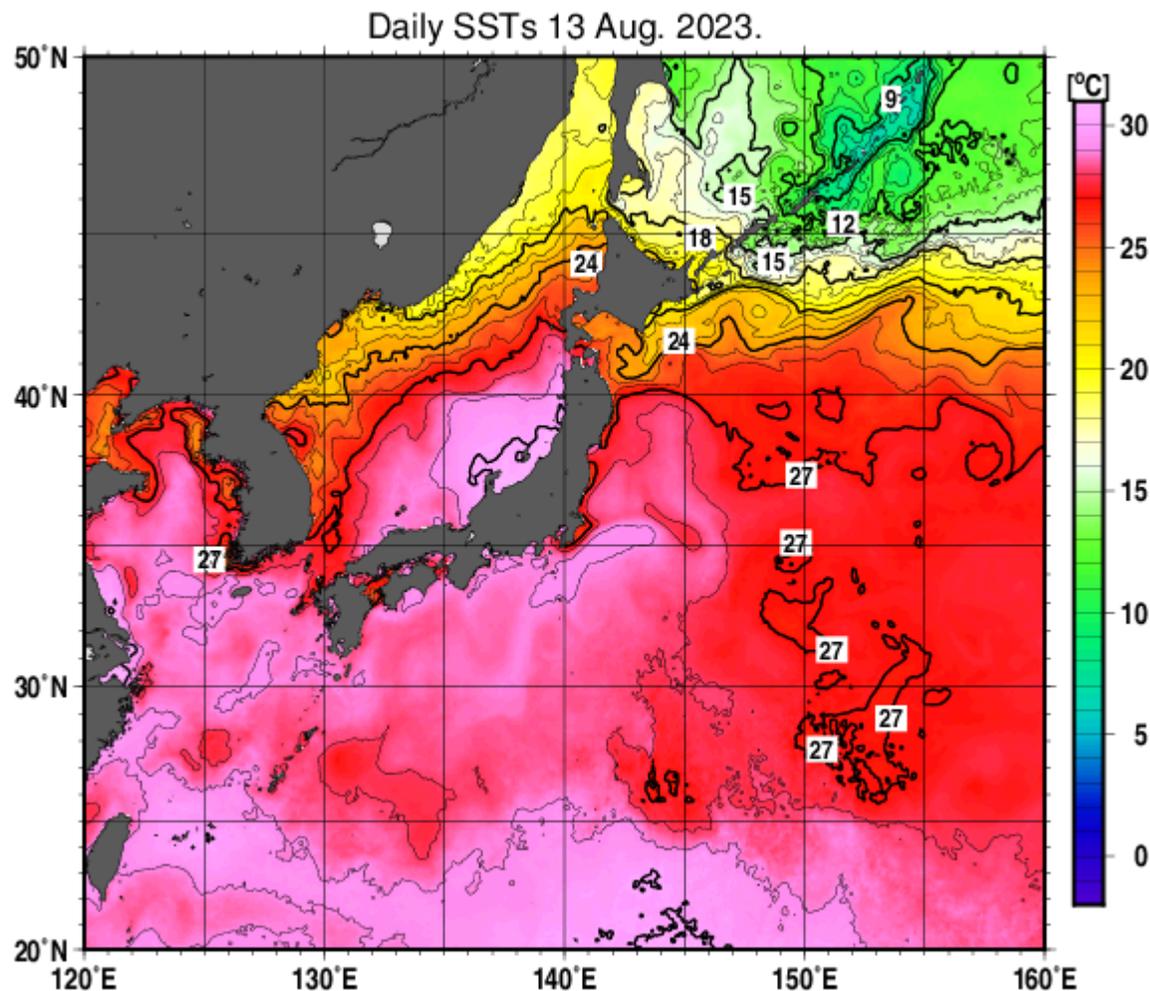


今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。

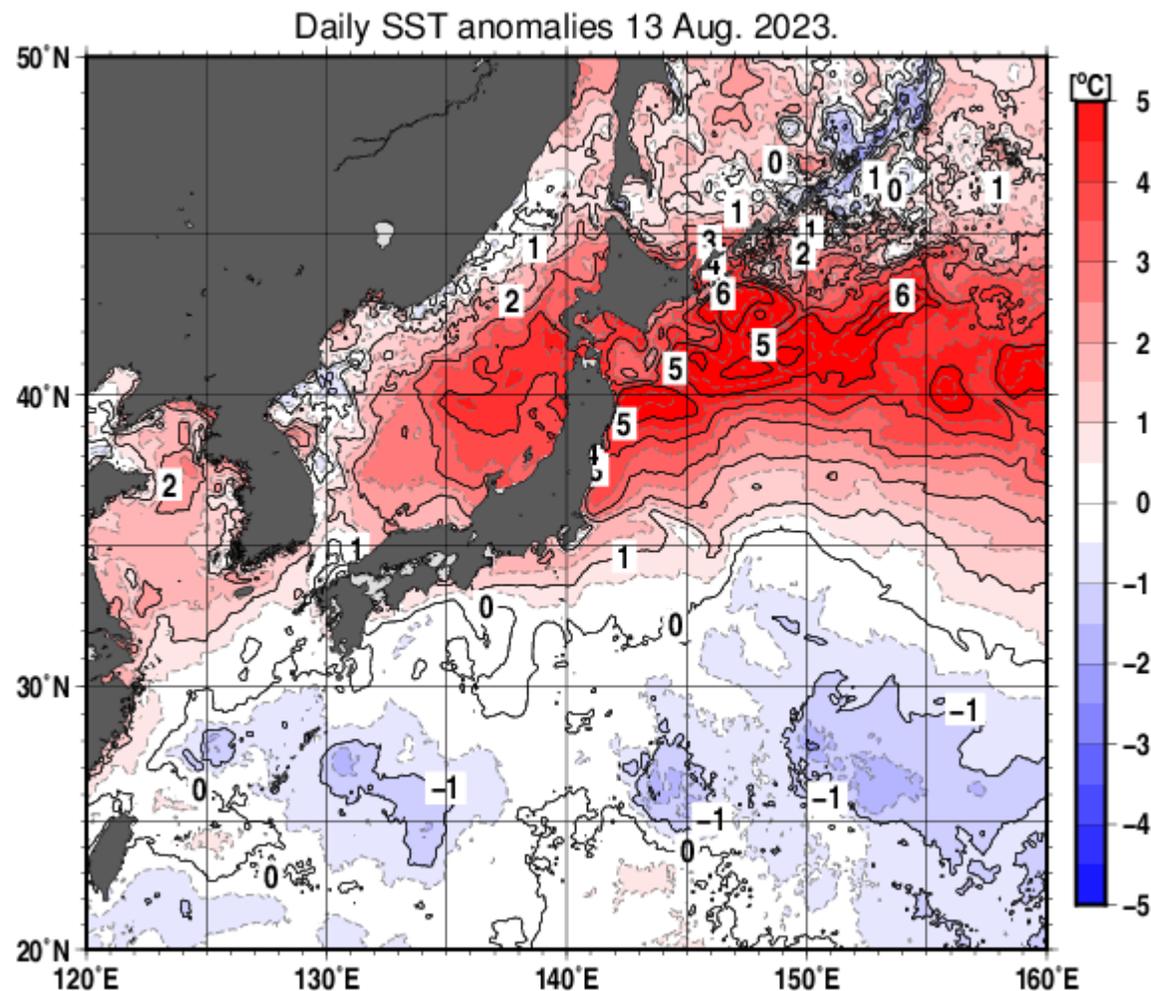
（台風情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/&typhoon=all&contents=typhoon&elem=root>）

日本周辺の海水温の状況

日別海面水温 2023年8月13日



日別海面水温平年値



日本付近は海面水温が高く、台風第7号は勢力を維持しながら北上する見込みです。

警報・注意報の見通し

		14日				15日								16日			
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
台風最接近																	
大雨(浸水) 1時間降水量(ミリ)	嶺北	30	30	30	20	0	0	10	20	30	40	50	50				
	嶺南	25	40	40	40	40	40	40	40	40	40	50	50				
大雨(土砂)	嶺北																
	嶺南																
洪水	嶺北																
	嶺南																
雷	全域																
暴風 (メートル)	嶺北	陸上	8↓	8↓	8↓	5↓	5↓	5↓	6↖	10↖	15↖	15↖	20↑	20↑			
		海上	10↓	10↓	10↓	10↓	13↓	15↓	18↗	20↗	23↗	23↗	23↗	23↑			
	嶺南	陸上	8↓	8↓	6↓	3↓	5↓	5↓	10↑	10↑	15↑	15↑	20↑	20↑			
		海上	10↓	10↓	10↓	10↓	13↓	15↓	18↗	20↗	23↗	23↗	23↗	23↑			
波浪 (メートル)	嶺北	1.5	1.5	2	2	2	2.5	2.5	3	3	3	3	3				
	嶺南	1.5	2	2	2	2.5	2.5	3	3	3	3	3	3				
高潮 (メートル)	嶺北北部 (三国)	0.7							0.7	0.7							
	嶺南南部・嶺南 (敦賀)	0.9	0.8			0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8						

↓: 北の風 ↗: 北東の風 ←: 東の風 ↘: 南東の風 ↑: 南の風 ↖: 南西の風 ⇐: 西の風 ↙: 北西の風

◎**警報**の現象が予想される期間:

◎**注意報**の現象が予想される期間:

※警報、注意報は、対象となる期間よりも前に数時間のリードタイムをとって発表します。

**警報・注意報の期間は、台風の数や進路によって変わります。
気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。**

福井県の早期注意情報（警報級の可能性）

※警戒レベルとの関係(早期注意情報(警報級の可能性))
 早期注意情報(警報級の可能性)*...【警戒レベル1】

福井県の早期注意情報（警報級の可能性）										
2023年08月14日11時 福井地方気象台 発表										
嶺北では、15日までの期間内に、大雨、暴風警報を発表する可能性が高い。										
嶺南では、15日までの期間内に、大雨、暴風警報を発表する可能性が高い。また、15日までの期間内に、高潮警報を発表する可能性がある。										
福井県嶺北		14日		15日			16日	17日	18日	19日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	[高]			[中]	-	-	-
	1時間最大	30	30	15以下	20	50				
	3時間最大	45	45	25以下	30	70				
	24時間最大				150から200					
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	[高]			[中]	-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	10	20			
		海上	10	10	15	20	23			
波浪	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	波高	1.5	2	2.5	3	3				
高潮	警報級の可能性	-	-	-			[中]	-	-	-
福井県嶺南		14日		15日			16日	17日	18日	19日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	[中]	[高]			[中]	-	-	-
	1時間最大	40	40	40	40	50				
	3時間最大	60	60	60	60	70				
	24時間最大				150から200					
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	[高]			[中]	-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	10	20			
		海上	10	10	15	20	23			
波浪	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	波高	2	2	2.5	3	3				
高潮	警報級の可能性	-	-	[中]			[中]	-	-	-

〔風の予想〕

15日に予想される最大風速(最大瞬間風速)
 嶺北陸上 20メートル(35メートル)
 嶺北海上 23メートル(35メートル)
 嶺南陸上 20メートル(35メートル)
 嶺南海上 23メートル(35メートル)

16日に予想される最大風速(最大瞬間風速)
 嶺北
 陸上 15から19メートル(25から35メートル)
 海上 15から19メートル(20から30メートル)
 嶺南
 陸上 15から19メートル(25から35メートル)
 海上 15から19メートル(20から30メートル)

〔雨の予想〕

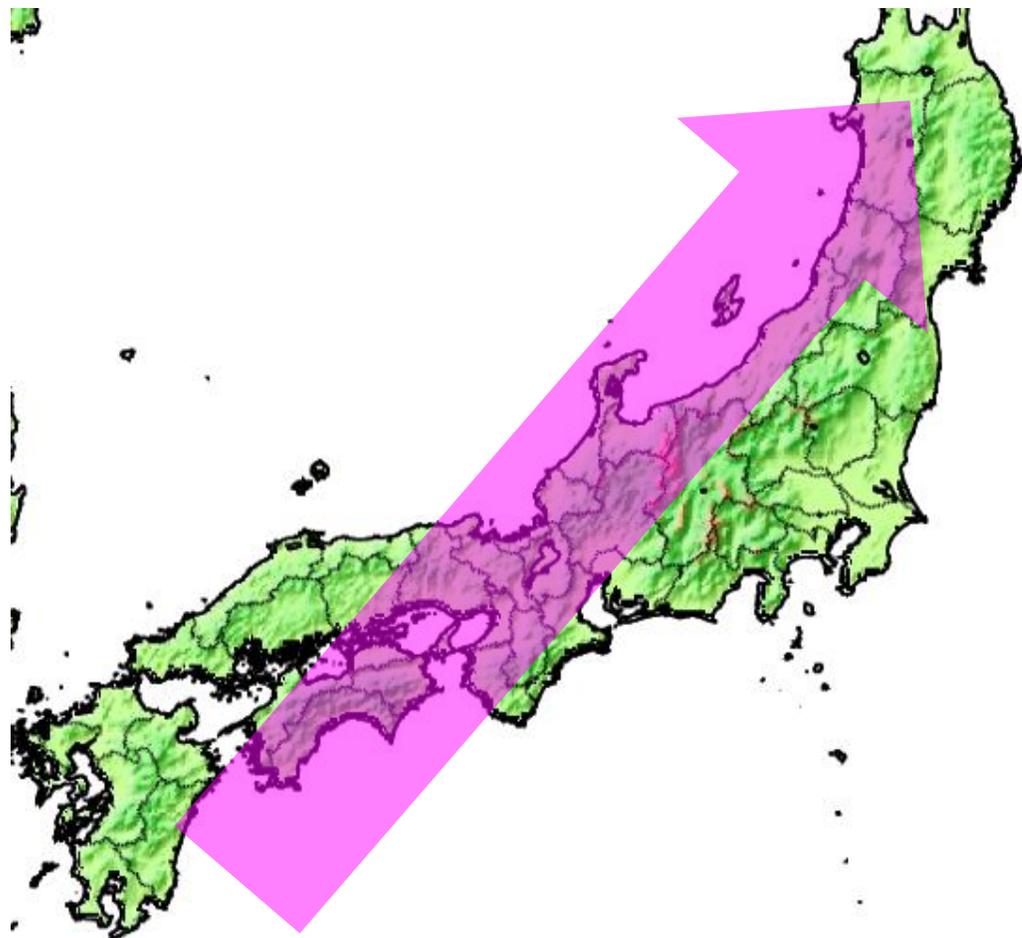
14日12時から15日12時までに予想される
 24時間降水量は、いずれも多い所で、
 嶺北 60ミリ
 嶺南 80ミリ
 その後、15日12時から16日12時までに予想
 される24時間降水量は、いずれも多い所で、
 嶺北 100から200ミリ
 嶺南 100から200ミリ

台風進路と防災事項 (台風が予報円の中心を進んだ場合)

< 県内への影響 >

- ・台風第7号は、15日から16日にかけて福井県に接近し、通過する可能性があります(台風の最接近:15日午後)。
- ・風は、15日昼頃から海上では非常に強い風、陸上でも強い風が吹き、15日夜は、**暴風に警戒してください。**
- ・雨は、14日から局地的に雷を伴った激しい雨が降り、15日昼には広い範囲で激しい雨となり、夜には**非常に激しく降る**でしょう。大雨による**土砂災害、浸水害、河川の増水や氾濫に警戒してください。**
- ・波は、15日朝から次第に高まり、16日にかけて高波に注意して下さい。
- ・沿岸部では高潮に注意・**警戒してください。**

台風が福井県付近(本州付近)を北～北東に進む時の 雨・風の特徴



◎台風の中心が福井県の西側にある時

【雨】太平洋側の地域の大雨の影響を受け、山地の県境付近で局地的に大雨となることがある。

【風】台風の接近と共に、S寄りの強風となる。

◎台風の中心が福井県の東側にある時

【雨】N寄りの風の影響で大雨になりやすく、特に嶺南や嶺北の山地で多くなることが多い。

【風】台風が通過した後は、N寄りの強風となる。

雨の強さと降り方

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる				

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

風の強さと吹き方

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	種(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	~110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	~125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	~140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km~						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

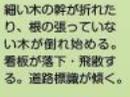
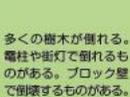
(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 	雨の音で話し声が良く聞き取れない。 	地面一面に水たまりができる。 	車に乗っていて
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。 			ワイパーを速くしても見づらい。 
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。 	道路が川のようなになる。 	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象) 
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴーパーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。 		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 	車の運転は危険。 
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

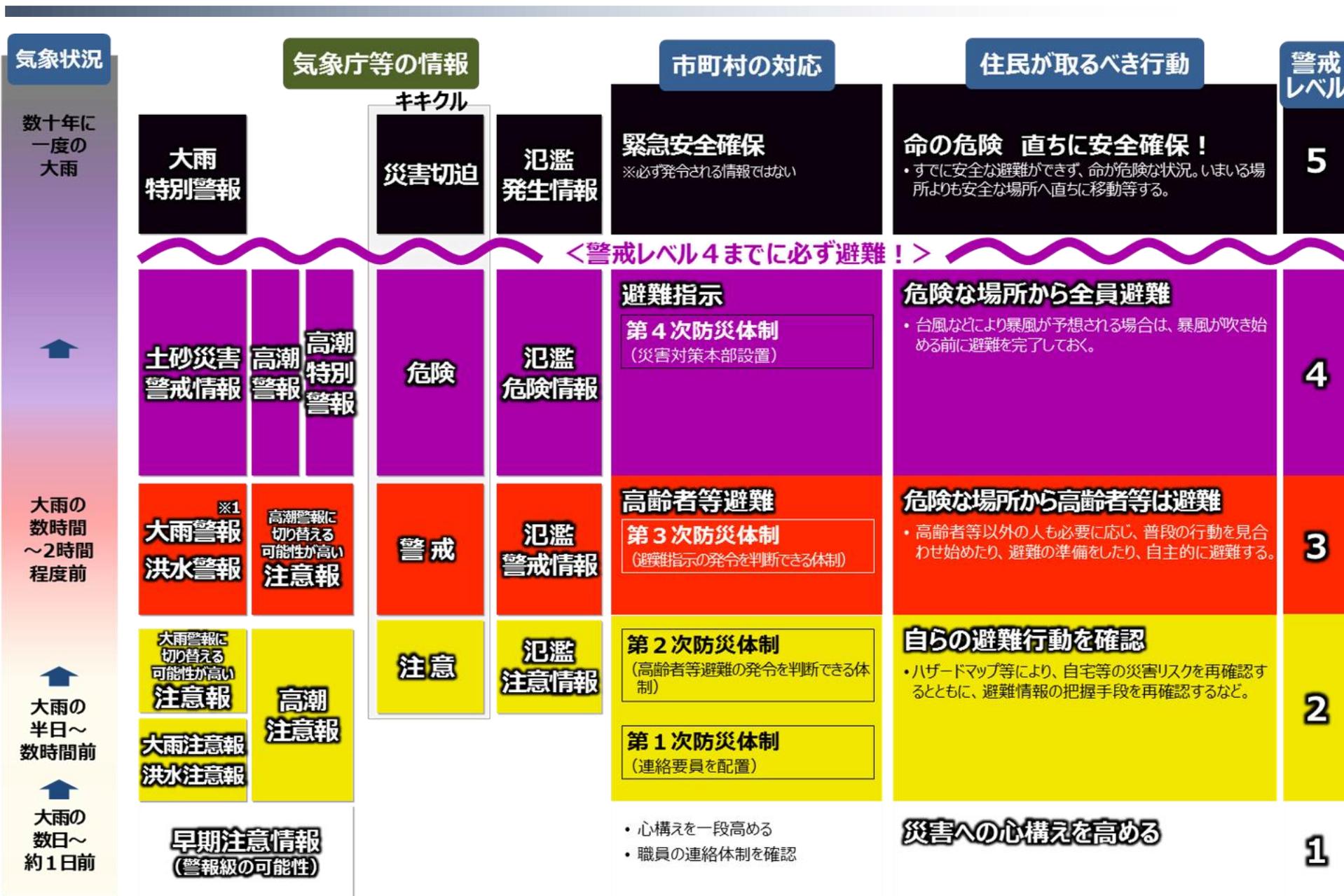
(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。
(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を予測・解析したときには短時間大雨警報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈的な雨が降っていることを意味しています。なお、警報の基準は地域によって異なります。

平均風速 (m/s) おおよその降速	風の強さ (予報用語)	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
10~15 ~約50km/h	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩かなくなる。傘がさせない。 	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。 	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。 	壁(と)が揺れ始める。 	20
15~20 ~約70km/h	強い風	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。 	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。 	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。 	30
20~25 ~約90km/h	非常に強い風	高速道路の自動車	何かにつかまっていなると立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。 	通常の速度で運転するのが困難になる。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。 	40
25~30 ~約110km/h			屋外での行動は極めて危険。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯が倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	走行中のトラックが横転する。 	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	50
30~35 ~約125km/h	猛烈な風	特急電車				外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 	60
35~40 ~約140km/h						住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	
40~ 約140km/h~							

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。
(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合は3倍以上になることがあります。
(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意ください。
1 風速は地形や建物の影響を受けますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を想定していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3 人や物への影響は日本気象学会の「瞬間風速と人や物の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#lang=ja&area_type=offices&area_code=180000
 - 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）
https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=offices&area_code=180000
-
- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=180000
 - 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/&elem=typhoon_all&typhoon=all&contents=typhoon
 - 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=180000
 - 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=180000
 - 最新の気象データ（雨や風の観測データ）
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/rank_daily/prerct00.html#pre24h_rct
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/rank_daily/data00.html#mxwsp

(参考資料) 段階的に発表される防災気象情報の活用例



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成